教育ひょうご

発行所 神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人 兵庫県教職員組合 代表者 川原芳和
編集人 西嶋保子
電話 050（3538）2346
1部15円　年定価360円（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2017/4・15
No. 1927

2面
・「兵教組は　なぜ　教研活動をするのか」

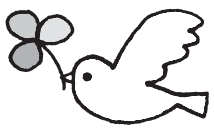
兵教組 教育文化・社会貢献事業

協賛金 賛同者募集

兵庫県教職員組合は、1978年より長年にわたり、組合員のカンパや協賛者、賛同団体などからの寄付金を財源に、教育振興特別事業・福祉事業などのさまざまな社会貢献活動や、教育条件整備とともに子どもたちへの就学援助事業をおこなってきた。

07年度からは「兵庫県教職員組合教育文化・社会貢献事業」として、さらなる事業の推進と充実をめざして発展的に見直し、大きな成果をあげてきた。16年度もおよそ5千人の方々に賛同いただいた。

11年目を迎えるこの事業の趣旨およびこれまでの経緯をふまえ、社会貢献活動の一環として今後の事業の発展のため、皆様のさらなるご理解とご協力をお願いします。



主におこなっている事業

①兵庫県内の公立小学校・中学校、義務教育学校、中等教育学校および特別支援学校等に在学する児童・生徒に対する支援
②教職員の教育力量を高めるための研究助成
③県民の教育および文化の向上と教育改革県民運動発展に対する助成
④県内の福祉団体等への助成
⑤その他、目的を達成するのに必要な事業

事業賛同者のかたへ

「協賛金」は1口500円です。

受給者は、**5口 2,500円以上**
一般教職員等は、**1口 500円以上**
のご協力を呼びかけています。

※詳しくは各地域組合書記局へお問い合わせください。

東日本大震災で兵庫県に避難し、就学支援物品を受けとった児童からの感謝の手紙

4月29日（土・祝）は メーデーに参加しよう！

第88回神戸中央大会

神戸大倉山公園野球場にて

4月29日（土・祝）、第88回兵庫県メーデー神戸中央大会が、神戸大倉山公園野球場で10時より開催される。メインスローガンは、「長時間労働の撲滅、ディーセント・ワークの実現、今こそ底上げ、底支え、格差是正の実現を！」

開会宣言の後、実行委員長や来賓のあいさつがあり、メーデー宣言を採択する。式典の終わりに抽選会をおこなった後、デモ行進する。

雇用と景気の回復・生活の安定にむけて、みなさんお誘い合わせのうえ、多数ご参加ください。

昨年の神戸中央大会のデモ行進のようす

「さつまいも」
丹波市立小川小学校
一年　藤井ひより

（こどもの詩と絵 第37集より）

川原 芳和
中央執行委員長

Welcome Hyogo Teachers' Union

職場の新しい仲間に組合加入の呼びかけを

兵庫県教職員組合（略称＝兵教組）は、1947年7月10日に結成され今年70年を迎える。小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、養護・特別支援学校および一部の幼稚園も含めた県内の分会（学校）の教員・養護教員・学校事務職員・栄養教員・学校栄養職員・臨時的任用教職員等のほとんどの方が加入している組合だ。

また、兵庫教育文化研究所は、1977年に兵教組が設立した教育研究機関である。（詳細は、裏面参照）

社会における様々な問題が、子どもたちに顕著に現れている。「子どもの貧困」「いじめ問題」「子ども虐待」「不登校」「経済格差」等、多様化する教育課題が渦巻いており、学校・家庭・地域社会のなかで、子どもたちの居場所が失われ、将来に対する不安を感じている子どもも少なくない。

子どもたちにゆたかな学びをはぐくんでいくには、すべての教職員の協力・協働体制が必要だ。私たちは、チームワークで支え合い、子どもたちに寄り添い、耳を傾け、人権を尊重する教育にとりくむことが大切だと考えている。

兵教組は、「いきる つながる みちひらく」をキーワードに「ゆたかな教育の創造を」、「子どもを中心にすえた、地域に開かれた学校づくりを」と、子どもたちの明るい未来を築くためさまざまな活動にとりくんでいる。また、教職員の生活と労働条件の改善や安心して働ける職場環境の整備等にとりくんでいる。

設立40年を迎える兵庫教育文化研究所では、子どもを中心にした教育研究や教育実践の交流をおこなうとともに、子どもたちが夢や希望を持てる教育の創造をめざしてとりくんでいる。

兵教組は、諸先輩が長年にわたって積み上げてきた「兵庫の教育」をさらに前進させていくために、教育研究活動の充実をすすめ、教職員と保護者、学校と地域・家庭が「子どもを中心に」連携をはかり、子どもたちの「ゆたかな学び」が保障されるようとりくんでいきたい。

新しく職場の仲間になった方や未加入の仲間に声をかけ、各地域組合への加入を呼びかけていただきたい。

教職員共済の「医療共済」で、1日あたり5,000円程度の入院保障を用意しておきませんか?

たとえばこんなプラン！

基本契約5口
入院　医療共済金
1日なつき　5,000円
（ガン入院は10,000円）
1泊2日以上の入院を保障。
一般の入院は1入院につき年間180日まで。ガン入院は日数無制限。

＋

手術特約5口
手術　手術共済金
手術の種類により
20万円・10万円・5万円
所定の手術を受けたとき保障。
日帰り手術も対象。

＋

先進医療特約（口数なし）
先進医療　先進医療共済金
自己但した技術料相当額
（最高1,000万円）
所定の先進医療を受けたとき
自己負担した技術料を保障。

この掛金に注目！

月掛金
40歳以下の場合　1,177円
41歳～60歳の場合　1,897円

ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

あんしん むすぶ
教職員共済

資料請求・お問い合わせは

教職員共済生活協同組合
兵庫県事業所

〒650-0004
神戸市中央区中山手通4丁目
10-8 ラッセホール4F

電話（078）221-9730
FAX（078）221-1199

承 16-56-39（1609）

兵教組はなぜ教研活動をするのか

教育研究

兵庫教育文化研究所
大野圭一　事務局長

兵教組は、創造的な教育研究（教研）活動の定着・発展と、保護者・県民の信頼に応える教育力量の向上をめざして、「いきる　つながる　みちひらく　～自立と連帯・共生の学びと教育～」をメイン・テーマに、教育研究活動にとりくんでいる。では、「教研活動」とは何なのか。なぜ、兵教組は「教研活動」を積極的にすすめているのか。新しく組合員になった皆さんが抱きがちな疑問に、各地域組合の教育研究委員会・研究所と連携して、子どもを中心とした「ゆたかな教育実践」をすすめている兵庫教育文化研究所の大野圭一事務局長が答える。

教研活動とは？

私たち教職員組合の活動は、大きく2つにわけることができる。ひとつは、賃金や労働条件の改善をもとめる「**労働運動**」。もうひとつが「**教育研究（教研）活動**」である。

この2つは兵教組運動の車の両輪に例えられて、どっちも大事だと言われるが、そう思っていない人もいるのではないだろうか。正直に打ち明けると、私も若い頃に「組合なんだから、給料のことだけやって、教研なんかしなくてもいいんじゃないか」と思っていた頃があった。

どんな仕事でも当てはまると思うが、教職員は子どもたちに関わる仕事だからこそ、より自分の力量を高める努力が必要だと思う。

そのための方法はいろいろある。教育委員会等が主催する公的な研修もあれば、学校の校内研修もある。民間の研修もあれば、読書をして学ぶこともできる。

組合の教研活動も、そんな方法のひとつである。みなさん、いろいろな方法で努力されていると思う。

では教研活動は、他の方法とはどこが違うのだろうか。それは「**子どもを中心とした**」という点が、大きな違いであり特徴だろう。

公的な研修で学ぶ内容の根本を突き詰めると、学習指導要領をはじめとする国からの発信にいきつく。その内容は、学習の内容や方法に関する理論である。最近の例を見ると、小学校英語の教科化や主体的・対話的で深い学び等が、具体的な内容や方法にあたる。

もちろん私たちが知っておいたらよい大事なことだが、それを知っておいたら学校現場でなんとかなるというわけではないのが、私たちが初めて子どもの前に立ったときの実感だろう。

この理論を考えているのは、政府・与党が選んだ研究者や学者等の方々である。当然、政府・与党の考えに近い人が選ばれている。

今も、道徳の教科化などに見られるように、国の考えが強く打ち出されてきているが、それらが本当に子どもたちのためになるのか、考える必要もあるのではないだろうか。

理論が中心の公的な研修に対して、教研活動の根本は、子どもである。

今、目の前にいる子どもたちの実態を見つめ、何に困っているのか、何が必要なのか、どう声をかけるのか…と考えて「わかる授業　楽しい学校づくり」をする。

もちろん理論を知っておくことは大事なことだが、その理論に子どもたちをあてはめるのではなく、子どもたちの実態に合わせて理論を活用する。それが教研活動だと思う。

学力調査結果の公表

みなさんの学校でも、全国学力・学習状況調査がおこなわれただろう。この結果の公表、特に数値を公表することには、兵教組は反対している。その理由は、大きく2つある。

ひとつは、学力調査で測定できるのは、子どもたちの力の一部分でしかないということ。もうひとつは、序列化や競争をあおる原因になるということである。

学力調査の結果が公表されると、都道府県の順位が一番の話題になるが、本来なら、どんな課題があって、どう解決すればいいかという議論を大切にしなければならないはずだ。各学校の成績が公表されたら、同じように学校間で順位がつけられてしまう。だから反対しているのである。

「労働運動」と「教研活動」は車の両輪

教育ひょうご保護者版・地域版
2016年10月10日

県教研でのこども体験・ステージ発表、展示・体験コーナーのようす

兵教組の「組織力」と「提言力」

交渉力の源泉

兵庫県の教職員の労働条件が比較的良いのは、まず、大勢の教職員が組合員になっていて、組織力があるからだ。人数が多いからこそ教育委員会ともきちんと話ができる。まさに団結の力である。

そしてもうひとつは、教研活動で高めた提言力である。

子どもたちの実態から学んだ現場の意見と、大学の先生や研究者から話を聞いた理論とを合わせ、県教委に提言し、多くが受け入れられている。

このように、兵教組の組織力と教研活動が、交渉力の裏付けになっているのである。

開かれた教研

「開かれた教研」というと言葉を聞いたことはあるだろうか。その象徴が「兵庫県教育研究集会（ひょうご教育フェスティバル）」だが、どうして子ども・地域・保護者に開かれるようになったのだろうか。

「開かれた教研」は１９８０年代の後半から始まった。当時は校内暴力等が話題になった頃で、「学校教育だけでは限界がある」「地域・保護者との連携が不可欠である」といったことがよく言われるようになった。必要に迫られて、保護者・地域と一緒に教育について考えるようになったのがスタートである。

当初は多くの方々に参加していただいたが、課題も多く、地域・保護者からの参加は年々減少してしまった。そこで、もう一度原点に立ち返ったのが２００４年である。「教職員だけの集会で満足していてはダメだ」「子ども、保護者、地域の方々の声に耳を傾け、教職員の意識変革・学校改革につなげなければ」などの議論がおこなわれ、その翌年から、今のような「教育フェスティバル」として開催するようになった。

右図は「教育ひょうご」の「ひょうご教育フェスティバル特集号」である。普段は組合員のみなさんにだけ配付しているが、この特集号は、学校を通して開催地域すべての子どもがいる家庭に配付している。これも「開かれた教研」のとりくみの一部だ。そこに掲載されている「展示・体験コーナー」や「子ども体験・ステージ発表」、「シンポジウム」なども、多くの方に参加していただくためのとりくみである。こうして参加していただくことで、教職員組合は子どもたちのために一生懸命とりくんでいることを知っていただくことにもつながるのではないかと考えている。

みんなでとりくむ

近年、子どもたちの人間関係が希薄であるとよく言われ、教研集会でも仲間づくりのリポートが数多く出ている。しかし、子どもたちにとって身近なおとなである私たち教職員の人間関係がうまくいっていないとしたら、子どもたちに仲間づくりを望むのは、難しいのではないだろうか。教科が違っても、職種が違っても、子どもの話題であればみんなで共有できる。だからこそ、子どもを中心とした教研活動にみんなでとりくむことで、おとなの人間関係が良好な協力・協働の職場づくりをすすめることにもつながると思っている。それは、もちろん私たちが働く環境としてもよいものであるし、子どもたちにとってもよいものになるはずだ。

子どもたちのためにも、自分の力量を高めるためにも、そしてよりよい職場づくりのためにも、子どもを中心とした教研活動に、みんなでとりくんでいこう。

レストランリビエラ　春のバンケットプラン　2017年3/1(水) ▸▸ 2017年5/31(水)

レストランパーティープラン　15:00～21:00の間、2時間制となります　個室利用はできません　レストラン リビエラ ※8名様～

「春の味わい」コース
お一人様（税金・サービス料込）　3,800円コース　2時間制　要予約
卓盛りメニュー
◆シーフードサラダ オーロラソース（海老烏賊スモークサーモン）
◆ローストポークと彩り野菜　◆若鶏のアーモンド衣揚げ
◆串つくねの餡かけ　◆とろとろ玉子のチキンライス
◆椀子蕎麦　◆フルーツ盛り合わせ

「春の装い」コース
お一人様（税金・サービス料込）　4,400円コース　2時間制　要予約
卓盛りメニュー
◆春野菜とシーフードマリネ　◆ローストビーフ
◆鰹のたたき皿鉢盛り　◆豚肉とカリフラワーの塩だれ炒め
◆チキンとじゃが芋のグラタン　◆サラダ巻き寿司
◆椀子蕎麦　◆フルーツ盛り合わせ

フリードリンク　◆瓶ビール　◆焼酎（麦/芋）　◆ウィスキー　◆ハイボール　◆赤/白ワイン　◆各種サワー　◆梅酒　◆ウーロン茶　◆オレンジジュース
※30名様から貸し切り利用可（マイク2本無料）

写真はイメージです

写真はイメージです

150th Anniversary PORT OF KOBE　神戸開港150年記念ランチ
お一人様（税金・サービス料込）　1,500円コース　レストラン リビエラ ※2名様～
11:00～14:00のご利用となります。個室利用はできません。
神戸開港150周年を記念して、神戸牛やいかなご釘煮など、神戸の食材を使った記念ランチをご用意いたしました。この機会にぜひご賞味ください。
◆神戸牛バラスライスと玉ねぎの陶板焼き
◆シーフードマリネ
◆いかなご釘煮
◆ご飯、香の物、味噌汁
◆シャーベット

ご予約・お問い合わせはこちら　078－291－1110
お問い合わせ時間　平日・土　9:00～19:00　日・祝　9:00～18:00

ラッセホール
〒650-0004
兵庫県神戸市中央区中山手通4丁目10－8
TEL.078-291-1117（代表）
FAX.078-291-0333
https://www.lassehall.com
E-mail info@lassehall.com